第1回 ベーシックコース（難症例編）

実践 プリアジャストエッジワイズ法

ワイヤーベンディング不用の矯正治療、タイポドント実習２症例

抜歯症例と抜歯禁忌症例

本講習会は、矯正治療を研鑽することで、歯科の世界をより高度な世界に発展させることを目的としています。

具体的には、プリアジャストエッジワイズ装置とTi-Niワイヤーを組み合わせた矯正治療法を研鑽します。本法はワイヤーベンディング不用の簡便な術式なので、診断の重要性が浮き彫りになります。つまり、矯正治療では抜歯すべき症例と抜いてはならない症例があります。これらの２症例をタイポドント実習し、診断と治療のポイントを研鑽します。特に、抜歯部位の診断は重要です。下顎の抜歯部位は第一・第二小臼歯や智歯、あるいは非抜歯におよびます。

術式は図３の抜歯症例で、犬歯遠心移動と抜歯空隙閉鎖のスライディングメカニクスを研鑽します。これらの方法はミニインプラントを必要とせず、スムーズに抜歯治療を行えます。また、図１は左側３臼歯のシザーズバイトを呈する症例です。このような症例は外科的治療が選択されるほどの症例です。さらに、図２は下顎が鞍状歯列で、過蓋咬合を呈する症例です。下顎の叢生量が大きいことから抜歯が選択された症例を散見します。しかし、これらの症例は矯正治療では抜いてはならない症例です。しかも、従来の矯正治療法では困難であったことが、Ti-Niワイヤーの拡大作用を利用したことで、術式は至って簡便です。

つまり本講習会は、口唇閉鎖時のオトガイ筋の緊張や下顎智歯の問題を解決します。また、過蓋咬合症例や多数歯のシザーズバイトの非抜歯治療もテリトリーとします。さらに、含歯性嚢胞や上顎犬歯の水平埋伏の保存療法も視野に入れます。

応用症例とタイポドント（抜粋）

図１　左側臼歯（５６７）のシザーズバイト

図２　過蓋咬合症例（下顎の鞍状歯列）

図３　タイポドント（抜歯症例）

令和４年 日程と内容

2022年 9月22日(木)	Ⅰ級抜歯症例（タイポ１−①） 抜歯治療の診断、レベリング
11月17日(木)	Ⅰ級抜歯症例（タイポ１−②） 犬歯遠心移動実習、前歯レベリング
12月15日(木)	Ⅰ級抜歯症例（タイポ１−③） 空隙閉鎖実習、継続治療症例
2023年 1月19日(木)	Ⅱ級過蓋咬合症例（タイポ２−①） エチオロジー、レベリングの拡大作用
2月16日(木)	Ⅱ級過蓋咬合症例（タイポ２−②） 咬合挙上、シザーズバイトの治療

講習時間・定員　10：00〜16：30 / 12名

受講料　講習費 250,000円（テキスト代込）
材料費 132,000円（いずれも消費税込）

会　場　３８９三鷹（JR中央線三鷹駅徒歩４分）

後　援　株式会社 松風　矯正課

お問い合わせ　(株)松風 矯正課 NLTセミナー係
〒113-0034 東京都文京区湯島3-16-2
TEL:03-3832-1824 / FAX:03-3832-7682

受講料お振込先　三菱UFJ銀行
昭島支店(普通)0309309
NLT矯正研究所 代表 野田隆夫

講師
野田（のだ） 隆夫（たかお）

東京医科歯科大学卒業、歯学博士
野田矯正歯科クリニック院長
NLT矯正研究所代表

テキスト
実践プリアジャストエッジワイズ法　ストマトロジーとしての矯正治療
（東京臨床出版）

著書・論文
水平埋伏第三大臼歯のアップライト（矯正臨床ジャーナル）
Bicuspid Tubes(JCO誌)、抜歯しない埋伏歯の矯正治療（クインテッセンス出版）、
埋伏歯の保存治療ストラテジー(永末書店)、その他多数。

◆ お申込はメールにて受け付けております ◆

お申込先メールアドレス ＜(株)松風矯正課 NLTセミナー係＞

nlt.noda@gmail.com

こちらのメールアドレスに、
ご氏名・年齢・医院名・ご住所・電話番号・上記テキストの有無
をご記入の上、送信をお願い申し上げます。

※メール受付後、土日祝を除く3営業日以内に担当者より申込み受付、振込案内のご返信をさせていただきます。
　お申込み後のキャンセルにつきましては、キャンセル料が発生する場合がございます。詳しくはお申込み時の返信メールに記載のキャンセル規定をご確認ください。
※メール送信がうまくいかない場合、あるいはお申込みから土日祝を除く5営業日以上経過しても返信が無い場合、
　大変お手数ですが(株)松風までご連絡ください(TEL:03-3832-1824)。
※お申込み時のメールアドレスは、今後セミナー関連のご連絡に使用させていただきますので、確認のしやすいものをご使用ください。